

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	毎回ゆっくり時間をかけての個別的な対応については不十分な事もあり声かけ、説明不足により誤解を与える場面が見受けられる。利用者一人一人の個別性やプライバシーに配慮した関わりを意識していく必要がある。	集団生活の場面においても利用者個々が主体である事を念頭に置き、対等な関係性から日々の関わり行うと共に、業務先行にならないよう注意していく。また、尊厳のある対応や声かけにも留意していく。	日々の申し送りや定期的な勉強会等にて接遇やプライバシー等への配慮について学ぶと共に、職員間の情報共有や伝達をしっかりと行いながら利用者お一人おひとりの現状や注意事項の把握に努める。	6 か月	
2	29	弊害等については十分理解した上で、事故の危険性や防犯の観点から各フロアのドアやエレベーターにはテンキーでの施錠を行っている。	施錠の解除等、根本的な部分で早期の対応は困難だが、利用者の自由や拘束のないケアを意識した上で、代替での対応や余暇活動の充実等を図り安全性との両立を目指していく。	職員同行の下、他フロアや屋外散歩等へ積極的にお連れし、レク活動や他者交流を多く図ることにより気分転換や閉塞感のないようにしていく。	6 か月	
3	48	意向確認は日常生活の中で行っているも、認知症の状態にもより、現状において利用者は運営推進会議に参加されておらず。	日常生活での意見や要望を遠慮なく伝達できる機会を設けていくと共に、職員側も意識して本人の思いを確認する。	利用者の心身状況を確認し、可能であれば短時間でも運営推進会議に参加して頂く。また、日々の中でも利用者からの訴えや要望を待つだけでなく、積極的に思いを聞き取り確認し記録にも残していく。認知症等の状態によってはご家族への確認も定期的に行っていく。	6 か月	
4	50	定期的な施設での消防訓練等には地元消防の方も参加されているが、地域全体での防災訓練等には共同での参加や話し合いの場を持つ機会は少ない状況がある。	地域全体での防災訓練等にも利用者の状態を確認し可能な形での参加を模索していく。また地域の方々とも防災について意見交換できる場を持つようにしていく。	今回、地域全体での防災訓練に参加予定で行政や地域消防とも話し合いを重ねていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。今後も機会があれば利用者の負担が無いような状況を構築した上で可能な限り参加を目指し、運営推進会議等でも防災、災害等の意見交換や情報提供を行っていく。	6 か月	
5	5	日誌や経過記録を主に日々の記録を残しているが、内容について詳細が不十分であり画一化している状況がある。	記録を見返した時に日常の様子が見て取れるような書き方に留意する。また、サービス計画書の内容の反映や実践の有無についても意識していく。	単に行った事実だけを記載するのではなく、小さな変化や喜怒哀楽、思い等も個別的な目線で観察し記録に残していく。	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。
 注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告して下さい。
 注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤ その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤ その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④ その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③ 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤ その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤ その他()